

令和7年11月10日

岩手県知事 達 増 拓 也 様

岩 泉 町 長

中 居 健 一



小本港湾開発整備促進期成同盟会長

三田地 和 彦



要 望 書

岩泉町の振興発展につきましては、日頃から格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、本町では、防災体制の強化、産業の振興等、町民に寄り添った町政の推進に鋭意努力しているところであります。

その中で、小本港は、復興資材の移出入拠点として災害復旧事業の円滑な推進と岩泉町の地域復興に寄与してきたところであり、本町の強靱化において重要な役割を担う港湾であります。

また、産業においても、三陸沿岸道路の開通及び木質バイオマス発電の燃料需要の増加などにより、大規模出入荷の新たな拠点として期待が寄せられているところであります。

つきましては、小本港の更なる利用促進のため、次に掲げる要望項目につきまして、特段のご高配を賜りたくご要望申し上げます。

地方港湾「小本港」の整備促進について

小本港は、復興資材の移出入拠点として災害復旧事業と地域の復興事業に寄与してきましたが、三陸沿岸道路の開通及び木質バイオマス発電の燃料需要の増加等により、大規模出入荷の新たな拠点として期待が寄せられております。

つきましては、産業振興と地域活性化を推進するため、次のとおり要望します。

1 -7.5m埠頭の早期整備について

産業振興と活性化のため、大型船が着岸できる-7.5m埠頭を早期に整備すること。

2 海底の環境整備について

小本港湾内の航路において、波のうねりなどにより、船底が海底に当たる恐れがあるため、海底の浚渫及び岩礁の除去を実施すること。